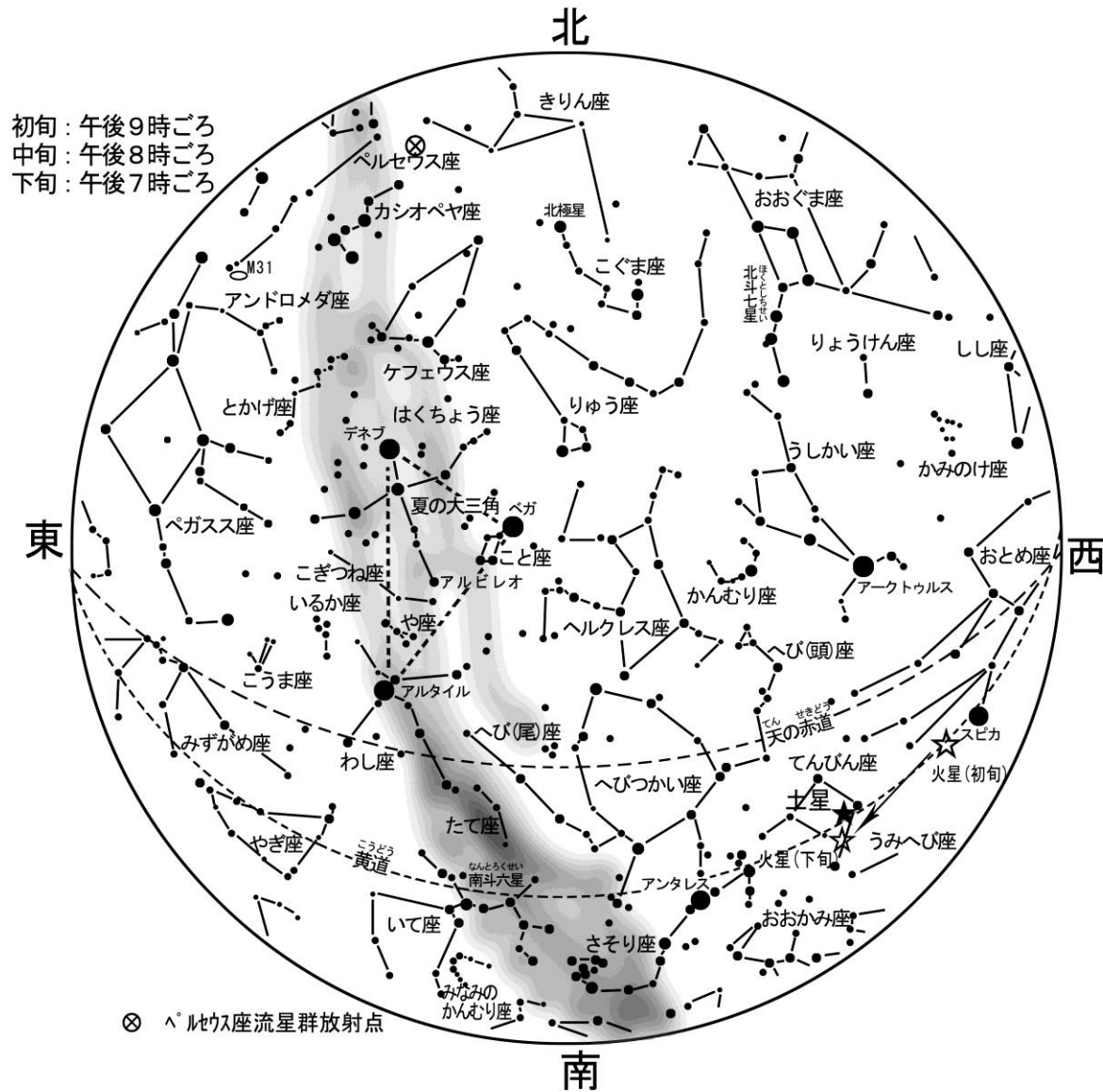


平成26年 8月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



初旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★8月の星空案内

夏の星座さがしは、ちょうど頭の真上あたりに、ひときわ白く輝く星から始まります。この星が、七夕の話に登場する“織り姫星”、こと座の1等星ベガです。では、“彦星”はというと、ベガからやや南東で輝く星が“彦星”、わし座の1等星アルタイルです。ベガから北東に目を移すと、はくちょう座の1等星デネブが輝いています。このデネブ、ベガ、アルタイルを結びと、“夏の三大角”ができ、夏の星座さがしのよい案内役となります。

また、南の空低いところに、ひときわ赤く輝いている星があります。その星がさそり座の1等星アンタレスです。“火星の敵”という意味です。さそり座は、アンタレスを含むアルファベットのSの字のような星の並びが目印になります。さそり座の隣にある6つの星でできるひしゃくの星の並びが”南斗六星”です。これが目印の星座はいて座です。このいて座付近が天の川が最も明るく見える部分です。天の川は、星の集まり（天の川銀河）です。街明かりのない所で、ぼやっと見える天の川の観察に挑戦してみてもいいかもしれません。

< 現在見える惑星 >

- 水星(-1.1等前後):かに座付近。今月は観察に適さない。
- 金星(-3.9等前後):ふたご→かに座付近。夜明け前、東の低空でひときわ明るく輝く。
- 火星(0.5等前後):おとめ→てんびん座付近。21時頃、西南西の低空で赤っぽく輝く。
- 木星(木星(-1.8等前後):かに座付近。夜明け前、東の低空で観察できる。
- 土星(0.6等前後):てんびん座付近。21時頃、南西の空で黄色っぽく輝く。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	土	伝統的七夕(旧暦七夕)	17	日	☾下弦(21:26)
4	月	☾上弦(09:50)	18	月	木星と金星が最接近(13:07)
11	月	☽満月(03:09)※スーパームーン	25	月	☾新月(23:13)
13	水	ペルセウス座流星群極大(09:00)	31	日	夕方、南西の低空で土星と細い月が並ぶ